

総合版「司法書士」TLTソフトの学習計画

法学部出身者または司法試験・司法書士試験受験経験者なら、ここで示した標準習熟時間で十分に合格点まで達する習熟学習ができます。憲法、民法、刑法の学習経験者を対象とした教材ですから基礎的な法理論等の学習は割愛しています。遅れは必ず別の日に挽回してください。

科目	標準習熟時間	ステップ数	公開時期	科目	標準習熟時間	ステップ数	公開時期
民法総則	30時間	[46]	受付次第	計算（資本金・準備金他）	(5)		
権利の主体（人・法人）と物	(15)			組織再編等	(11)		
法律行為（意思表示・代理等）について	(17)			解散と清算	(5)		
法律行為（無効、取消し・条件、期限）時効	(14)			持分会社について	(9)		
物権・担保物権	72時間	[119]	受付次第	特例有限会社について	(3)		
物権総論（対抗関係と物権変動）	(24)			民事訴訟法	55時間	[58]	10月中旬
占有権、所有権、用益物権	(23)			民訴概論と訴えの提起	(14)		
留置権・先取特権・質権について	(19)			口頭弁論とその準備	(13)		
抵当権とは①（意義・効力等）	(23)			証拠調べ訴訟終了、上訴	(18)		
抵当権とは②（処分・実行・消滅）	(14)			多数当事者訴訟、簡易訴訟	(13)		
根抵当権と非典型担保	(16)			民事執行法	30時間	[10]	10月中旬
債権	42時間	[72]	受付次第	民事執行についての総論	(5)		
債権の目的・効力・譲渡・消滅など	(37)			不動産執行、動産執行、債権執行とその他の執行	(5)		
典型契約各論	(25)			民事保全法	15時間	[4]	10月中旬
法定債権発生事由	(10)			民事保全法について	(4)		
親族・相続	37時間	[79]	受付次第	司法書士法	30時間	[7]	10月中旬
婚姻・親子について	(14)			司法書士法について	(7)		
法定血族関係と親権他	(19)			供託法	35時間	[16]	10月中旬
相続人と相続財産	(22)			供託法について	(16)		
相続の承認と放棄・遺言	(24)			不動産登記法	164時間	[89]	8月中旬
憲法	30時間	[51]	受付次第	登記・申請手続	(18)		
憲法総論と人権	(27)			登記手続における添付情報	(12)		
統治機構（国会・内閣等）	(19)			登記の実行と登録免許税他	(18)		
刑法	24時間	[65]	10月中旬	所有権と用益権の登記	(15)		
刑法総説と犯罪論体系	(16)			抵当権・根抵当権に関する登記	(15)		
修正された構成要件（未遂・共犯）	(13)			仮登記とその他の登記について	(11)		
罪数と刑罰について	(9)			不登記記述対策	55時間	[91]	10月中旬
殺人・傷害、窃盗・強盗の罪など	(8)			不動産登記書式ひな形学習	(13)		
詐欺・恐喝、横領・背任の罪など	(8)			所有権の移転及び抵当権	(28)		
国家的法益・社会的法益に対する罪	(11)			相続による登記及び根抵当権	(28)		
商法・会社法	107時間	[97]	受付次第	所有権の保存及び仮登記等	(22)		
商法総則と商行為	(7)			商業登記法	60時間	[39]	8月中旬
設立（発起設立と募集設立）	(11)			商業登記とは・その申請手続	(10)		
会社が発行する株式について	(11)			株式会社に関する登記	(16)		
会社の機関Ⅰ（株主総会）	(7)			株式会社以外の会社に関する登記	(13)		
会社の機関Ⅱ（取締役と取締役会）	(10)			商登記記述対策	30時間	[36]	10月中旬
会社の機関Ⅲ（監査役等・その他）	(6)			商業登記書式ひな形学習	(18)		
資金調達する手段	(12)			株式会社に関する記述式問題	(18)		

※（ ）内の数字は学習すべき項目数です。法改正及び、内容の改訂により一部内容及び送付予定が多少変更になるケースもありますので、予め承知おきください。